

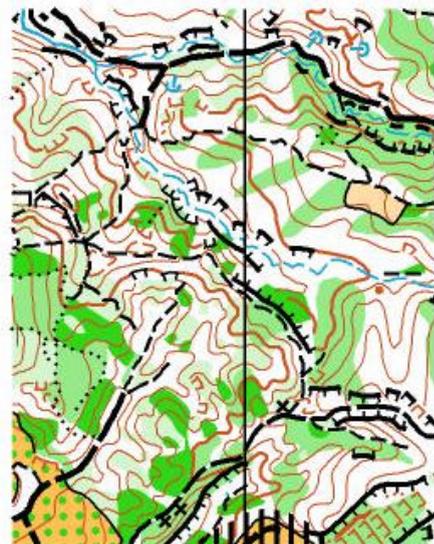
インターハイ・勝手に応援団

ようこそ、静岡へ : インハイ 全日本

村越 真



今年のインターハイは静岡大学が会場



他県ならエース級？日本平のテレイン

大学とタイアップで充実のインターハイ

インターハイが静岡にやってくる！しかも、自分が毎日通っている勤務地が会場だ。こんなワクワクすることは滅多にない。シモーネやティエリーらがやってくる全日本や世界選手権をグルメ料理とすれば、勤務地裏山のインターハイはB級グルメの魅力だ。このワクワク感を多くのオリエンティアと共有したい、そう思って「インターハイ勝手に応援団」を結成した(団員はたった一人だが...)。

静岡大学を会場とするこの大会は、大学が後援につき、参加賞の提供も行われる。大学希望者全入時代を迎えて、国立大学といえども生き残りに必死だ。「全国から高校生が集まる！」インターハイを支援しながら大学の宣伝、という一石二鳥を狙っている。

富士の好テレインを擁する静岡では、継子扱いの大学裏山のテレインだが、他県なら堂々エースを張れる。公認大会だろうが、インカレだろうが、なんでもこいの「するが台」だ(図参照)。

インターハイ自体は、土曜日の団体戦、日曜日の個人戦の二日間で行われる。関東の伝統校であった桐朋学園や麻布学園は、昨年の個人戦では、東海学園にチャンピオンの座を明け渡した。いわばアウェーとなる今年のインターハイで、関東の有力校がどう戦うかも注目される。

一般が参加できる併設大会は日曜日開催される。勝手に応援団では、土曜日にも一般参加者の楽しみを増やすため、一般向けのスプリント競技を提供する。正確な地図でキャンパスでのスピーディーなオリエンテーリングを十分堪能してもらえははずだ。

土曜日には、入試センターの協力も得て県内の高校生を対象とした「一足早く静大生気分。キャンパス・オリエンテーリングで静大を知ろう！」、地域の児童のためのキッズOも開催される。組織が地域との連携を図るためのツールとしてのオリエンテーリングの可能性を探ってみよう。

アフターOL もばっちり

おりしも3月末、春の早い静岡では桜の便りも聞かれる。フィニッシュ地区が予定される図書館下広場では、開花時期の違う桜の木が列植されており、レース後の花見には最高のロケーションである。周辺には久能山のいちご狩、おいしい駿河湾の魚など、アフターOL エンジョイ派にとっても、楽しいイベントとなるだろう。

もちろん、全日本も！

もちろん、静岡ではその前の週の全日本においても、全国の皆さんの起こしをお待ちしています。見違えるようになった地図。良質のテレイン。どのコースも必ずや満足いただけるので、そして演出。世界チャン



ロブ・フローライト作成のキャンパスマップ。複雑な建物群と林のコンビネーションは、スプリントに最適。赤丸は村越研究室所在地。



この桜も、当日は満開か？

ピオンらに日本のトップ選手がどう挑むかも見物である。(村越 真)